

## 6 弥富市が目指す都市交通の将来像

### 6-1 弥富市が目指す都市交通の将来像

本市は、平成31(2019)年3月に策定した第2次弥富市総合計画で掲げた将来都市像の実現を目指し、各種計画を策定し、取組みを推進しています。また、弥富市総合交通戦略においても、総合計画における将来都市像の実現に向け、まちづくりなどの各種計画とともに、都市交通の面から支えていく必要があります。

そこで、総合計画における将来都市像を踏まえ、次のとおり弥富市が目指す都市交通の将来像を設定します。

#### 第2次弥富市総合計画

(平成31(2019)年度～令和10(2028)年度)

#### 地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富

##### 基本目標

1. いつまでも住み続けたい安全・安心なまち
2. 笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち
3. 心豊かで文化を育む人づくりのまち
4. 人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち
5. 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
6. 市民と行政がつながり、共につくるまち

#### 弥富市総合交通戦略

(令和3(2021)年度～令和10(2028)年度)

#### 弥富市が目指す都市交通の将来像

### 地域が繋がり人がにぎわう、快適な都市交通の実現 ～移動環境が整ったまち・弥富～

誰もが安全・安心で快適に利用でき、日常の移動を支えにぎわいを生み出す多様な移動環境を確保・維持します。また、コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造の実現に向け、本市の都市拠点や地域生活拠点を中心に各地域を効果的に結ぶ交通体系を構築し、「人や地域を繋ぎ支える移動環境が整ったまち」を目指します。

---

## 6-2 将来都市交通ネットワークのイメージ

都市計画マスタープランや立地適正化計画で位置づけられている都市拠点や地域生活拠点などを効果的に繋ぎ、都市機能集積ゾーンや居住市街地ゾーンにおける生活活動を支える公共交通や道路のネットワークを構築し、移動環境が整ったまちづくりを推進します。なお、本計画においては、拠点としての「交通結節点」のほか、主要なコミュニティバス路線網を中心とする「公共交通軸」を新たに位置づけ、「人や地域を繋ぎ支える移動環境が整ったまち」を目指します。

<拠点>

### ■都市拠点【弥富駅・弥富市役所周辺区域】

交通結節機能を有する駅を中心に、商業・医療・福祉等の身近な生活サービス施設により市民生活を支える拠点として位置づけます。

### ■地域生活拠点【佐古木駅周辺、支所等を中心とした区域】

公共公益施設が集積し、生活サービス等により市民生活を支える拠点として位置づけます。

### ■物流・交通拠点【東名阪自動車道弥富IC、伊勢湾岸自動車道湾岸弥富IC及び弥富木曾岬IC、名古屋港（弥富ふ頭及び鍋田ふ頭）】

多くのヒトやモノの交流・流通を支える広域ネットワークの結節点として位置づけます。

### ■緑の交流拠点【木曾川海部緑地、尾張大橋緑地、三ツ又池公園、海南こどもの国、弥富野鳥園周辺、富浜緑地】

市民や来訪者が、弥富らしい“水と緑”を体感できる憩い・ふれあい・交流の拠点として位置づけます。

### ■にぎわい交流拠点【名古屋競馬場移転地（現弥富トレーニングセンター）、市街化区域内の大規模商業施設】

市内外から広く来訪者を呼び込み、ふれあい・交流によるにぎわいを生む拠点として位置づけます。

### ■交通結節点【弥富駅・近鉄弥富駅、佐古木駅】

鉄道やバス、タクシーなどの公共交通だけでなく、車や徒歩、自転車など多様な交通手段によるアクセスや乗り継ぎができる拠点として位置づけます。

<軸>

### ■高速幹線軸【東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道、一宮西港道路（ルート未確定）】

本市と中部地方の主要都市を結び、広域的なヒトやモノの交流・流通の主軸となる動線として位置づけます。

### ■広域幹線軸【鉄道、国道、都市を跨ぐ主要な都市計画道路等】

本市と周辺都市を結び、ヒトやモノの交流・流通の主軸となる動線として位置づけます。

### ■地域幹線軸【市内の地域間を結ぶ主要な都市計画道路等】

市内の各地域を結び、市民の円滑な移動や交流を支える動線として位置づけます。

### ■公共交通軸【本市や周辺自治体が運行する主要なコミュニティバス路線網】

弥富市コミュニティバス（きんちゃんバス）等により市内の各地域を結び、使いやすい移動手段として、市内の主要な医療施設への通院や商業施設への買い物など、生活を支える動線として位置づけます。

また、市内を運行する周辺自治体が運行するコミュニティバスについても、市内外との交流や日常の生活を支える動線として位置づけます。

---

<ゾーン>

■都市機能集積ゾーン【弥富駅から市役所周辺等の一帯のゾーン】

市民生活に必要となる多様な機能が集積し、利便性が高く、本市の顔となるゾーンとして位置づけます。

■居住市街地ゾーン【弥富駅及び佐古木駅周辺に広がる住居系市街地のゾーン】

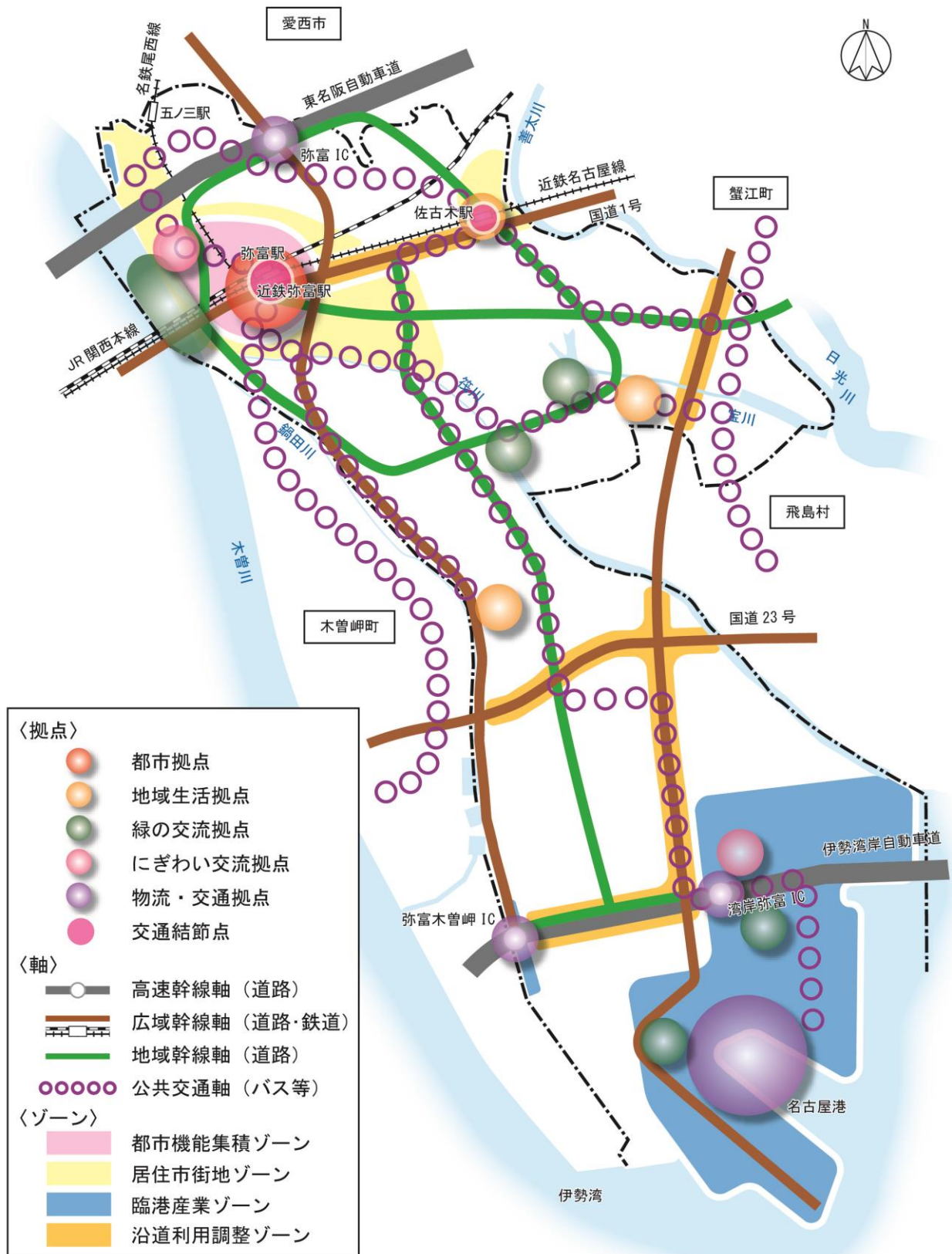
ゆとりと利便性を備えた住宅市街地を維持・形成し、移住・定住を図るゾーンとして位置づけます。

■臨海産業ゾーン【名古屋港を中心とした港湾ゾーン、既存の工業集積ゾーン】

物流・工業等の産業基盤の整備や企業誘致を進め、本市の産業活動の中核を担うゾーンとして位置づけます。

■沿道利用調整ゾーン【国道1号・国道23号・(都)西尾張中央道・(都)鍋田木場線の沿道ゾーン】

道路の機能や性格を踏まえつつ、必要に応じて生活サービス施設や物流等の土地利用を許容するゾーンとして位置づけます。



図：将来都市交通ネットワークのイメージ